



保健所業務案内



感染症・精神保健・難病などに関すること

- 1. 感染症・エイズ対策** 感染症予防の普及啓発、感染症発生時の調査や保健指導を行っています。
- 2. 結核対策** 結核と診断された方への療養・服薬支援、服薬終了後の経過観察を行っています。
- 3. 精神保健福祉対策** 心の健康に関する相談等を行っています。
- 4. 特殊疾病対策（難病対策）** 在宅療養中の方が安心して療養生活を送るために、療養上のご相談等を行っています。
- 5. 母子保健** 障害のあるお子さんの相談等を行っています。

食品衛生・栄養・環境衛生・動物愛護などに関すること

- 1. 食品衛生** 飲食によって発生する危害の発生を防止し、住民の健康の保護を図ることを目的に業務を行っています。
・食品関係事業所（飲食店、食品製施設、食品販売施設等）の営業許可に関する業務
・食中毒の調査及び検査など
- 2. 保健栄養** 栄養・食生活の向上に向けた関係機関・団体の連携の推進、特定給食施設等における指導、食品表示基準による栄養成分表示の相談・指導を通じた住民を取り巻く食環境の整備、健康に関する相談等を行っています。
- 3. 環境衛生** 理・美容所、クリーニング所、公衆浴場、旅館業（住宅宿泊事業（民泊）を除く宿泊営業施設）等の生活衛生関係営業施設及び貯水槽水道等に関する届出・営業許可（開設・変更・廃止等）、衛生管理指導（監視）、相談対応を行っています。
- 4. 獣医衛生** と畜場における検査と施設の衛生管理に対する監視・指導、動物の適正な飼養や動物由来感染症に関する普及啓発や苦情・相談への対応等の動物愛護管理業務及び化製場法の許可施設に対する監視指導業務を行っています。

★保健所事業案内★

ご相談は平日の8:30～17:00にお電話及びご来所下さい。

肝炎

肝炎ウイルス検査
(B・C型)

有料

無料

要予約、事前にご連絡ください

エイズ

エイズ（HIV抗体）・性感染症検査

無料

要予約、匿名で受診できます

検便

検便（細菌培養）検査

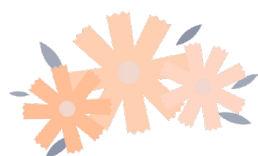
有料

検査日

- ・10月14日 火曜日
- ・11月10日 月曜日
- ・12月15日 月曜日

午前9:00～12:00

容器は事前に取りに来てください



編集後記

去年ダイビングに初挑戦し、八丈の海のきれいさと生き物の多さに大感動！ ですが時期が遅かったためそれ以来海とは縁遠く、いつのまにか年末になってしまいました。「来年はもっと海に行きたいなあ」と思いながら年を越し、ぼんやりしている間に春過ぎて、海水浴日和の気候になり既にだいふ日経ちました。そんな夏季の週末はといえば涼しい家の中で冷たいものを飲み、昼寝して趣味に没頭。結局は一步も外に出ないまま一日が終わっています。酷暑と熱中症のことを考えるとこれはこれで正しい令和の夏の過ごし方かもしれませんが、せっかくの八丈ブルーを満喫することなくまた冬を迎えてしまいそうです。



令和7年(2025年)
秋号
(10・11・12月)



保健所だより

令和7年10月発行 第406号 登録番号(7)1 東京都島しょ保健所八丈出張所

S1153604@section.metro.tokyo.jp

〒100-1511 八丈町三根 1950-2 TEL.04996(2)1291

見えない敵は、時間差でやってくる ～食中毒の潜伏期間について～

① 食中毒とは？

食中毒を起こすもととなる細菌（さいきん）やウイルス、有毒な物質がついた食べ物を食べることによって、下痢や腹痛、発熱、吐き気などの症状が出ることです。

② 潜伏期間とは？

「潜伏期間」とは、原因物質を摂取してから体に症状が出るまでの時間のことです。この時間は原因によって異なり、数時間～数日かかることもあります。



主な原因と潜伏期間の例

原因物質	潜伏期間	主な原因食品
ノロウイルス	1～2日	生ガキ、調理済み食品
サルモネラ菌	6時間～3日	卵、鶏肉、加工食品
ウエルシュ菌	6～18時間	肉類、魚介類、野菜を使用した煮込み料理
カンピロバクター	1～7日	鶏肉、飲料水
腸管出血性大腸菌（O-157 など）	4～8日	牛肉、野菜、加工食品

③ 潜伏期間を知ることの重要性とは？

原因食品と合わせて潜伏期間を知ること、「いつ・何を食べたことで具合が悪くなった」かを知る手がかりになります。例えば、昨日食べたお弁当が悪かったのか、それとも一昨日の外出が原因なのか推測できます。これにより、さらなる感染の拡大防止等の対策を講じることが可能になります。

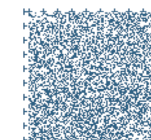
食中毒かも？と思ったらまずは医療機関を受診し、最寄りの保健所にご相談ください。

また、東京都のホームページでは、食中毒などの食の安全に関するさまざまな情報を発信しています。

是非ご覧ください。



東京都保健医療局 HP「食品衛生の窓」



山や草むらで活動するときは マダニ・ツツガムシに注意しましょう

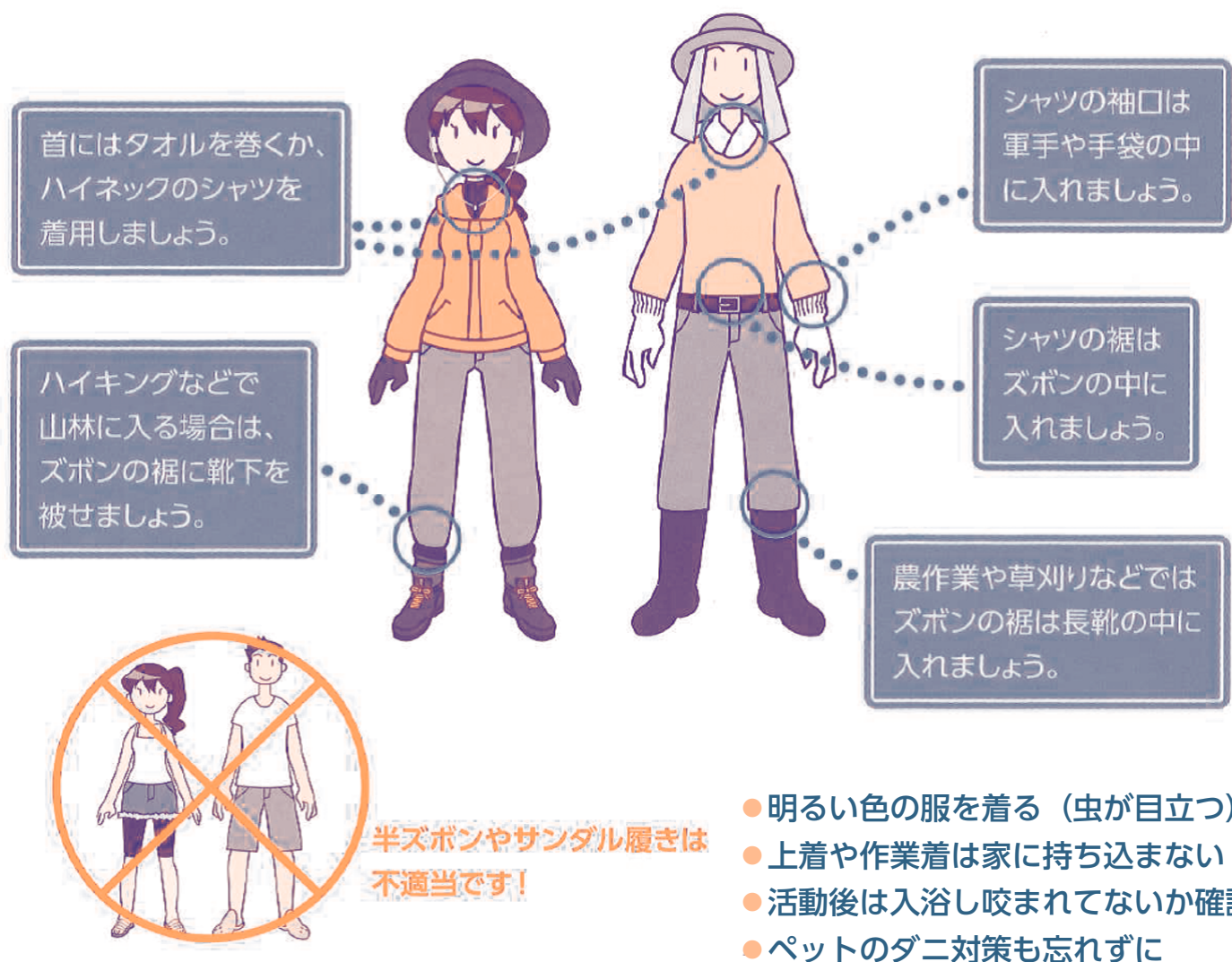
春から秋にかけての季節はマダニの活動も活発に

春から秋の行楽シーズンは、キャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなりますが、マダニやツツガムシの活動も活発になります。野山に生息するマダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病、ツツガムシに咬まれるとつつがむし病などの感染症にかかることがあります。

下記のポイントを参考にして虫に咬まれないように注意しましょう！

マダニから身を守るポイント

野外では、腕、足、首など、肌の露出を少なくする服装をしましょう。



ダニに刺されたときに

- ・無理に引き抜こうとせず、医療機関で処置をしてもらいましょう。
- ・マダニに咬まれた後は、体調の変化に注意して発熱症状等が認められたら医療機関で診察を受けましょう。

インフルエンザを予防しましょう！

秋から冬にかけては感染症が流行しやすい季節です。

その中でもインフルエンザは、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がります。流行シーズンを迎える前に予防について考えてみませんか。

どんな症状が出るの？

インフルエンザは 38℃ 以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している方では細菌による肺炎を伴う等、重症になることがあります。

どのように感染するの？

インフルエンザの主な感染経路は、飛沫（ひまつ）感染と接触感染です。

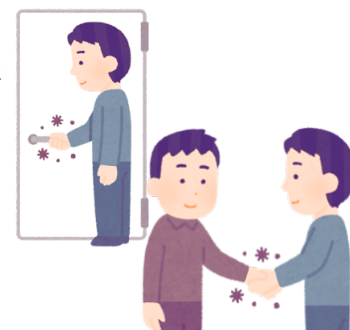
▶ 飛沫（ひまつ）感染

感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる感染です。



▶ 接触感染

ウイルスの付着した手で、目・口・鼻を触ることによる感染です。



予防するために、大切なこと

- ✓ 流水とせっけんによる手洗いやアルコール製剤の使用で手を清潔に保ちましょう。
- ✓ 咳、くしゃみが出る場合はマスクを着用しましょう。
- ✓ 食事と睡眠を十分に。適度な運動を行い、健康管理に気を付けましょう。
- ✓ こまめな部屋の換気と適度な湿度（50～60%）を保ちましょう。

予防接種を受けましょう！

発症や重症化を防ぐ効果があるワクチンがあります。効果が出るまで2週間ほどかかると言われていたため、接種を希望する方は早めに計画できると安心です。

